

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公開番号】特開2009-233466(P2009-233466A)

【公開日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-041

【出願番号】特願2009-173628(P2009-173628)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特別図柄表示部に可変表示される特別図柄の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となったときに遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、少なくとも前記特別図柄表示部と装飾図柄を表示する複数の装飾図柄表示部とを有する可変表示装置と、前記可変表示装置の表示状態を制御する可変表示制御手段とを備え、

前記可変表示制御手段は、前記特別図柄表示部に特別図柄を可変表示する制御を行う特別図柄表示制御手段と、前記特別図柄表示部に表示可能な表示内容よりも多い種類の表示内容を前記装飾図柄表示部に表示可能な装飾図柄表示制御手段とを含み、

前記遊技制御手段は、可変表示開始の条件の成立にもとづいて、特別図柄の可変表示時間と表示結果とを特定可能なコマンドを送出し、

前記可変表示制御手段は、

前記遊技制御手段から送出された前記可変表示時間を特定可能なコマンドで特定される可変表示時間にもとづいて装飾図柄の可変表示パターンを選択する選択手段を含み、

前記遊技制御手段から送出された前記コマンドにもとづいて、前記特別図柄表示制御手段を用いて特別図柄を可変表示させるとともに前記装飾図柄表示制御手段を用いて装飾図柄を可変表示させ、前記コマンドで特定される前記特別図柄表示部の表示結果と前記装飾図柄表示部の表示結果とが整合するように可変表示制御し、

前記装飾図柄表示制御手段は、前記選択手段により選択された可変表示パターンに応じた装飾図柄の可変表示を実行し、

前記特別図柄表示制御手段は、いずれの可変表示パターンが選択された場合でも、異なる特別図柄を同一切替速度で切り替えて前記特別図柄表示部に表示することによって特別図柄の可変表示を実行し、

前記装飾図柄表示制御手段は、前記可変表示時間を特定可能なコマンドで特定された前記可変表示時間があらかじめ決められている短縮時間である場合には該可変表示時間が経過したときに前記複数の装飾図柄表示部において同時に装飾図柄を停止表示することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、特別図柄表示部に可変表示される特別図柄の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となつたときに遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であつて、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、少なくとも特別図柄表示部と複数の装飾図柄を表示する装飾図柄表示部とを有する可変表示装置と、可変表示装置の表示状態を制御する可変表示制御手段とを備え、可変表示制御手段が、特別図柄表示部に特別図柄を可変表示する制御を行う特別図柄表示制御手段と、特別図柄表示部に表示可能な表示内容よりも多い種類の表示内容を装飾図柄表示部に表示可能な装飾図柄表示制御手段とを含み、遊技制御手段が、可変表示開始の条件の成立にもとづいて、可変表示時間と表示結果とを特定可能なコマンドを送出し、可変表示制御手段は、遊技制御手段から送出された可変表示時間を特定可能なコマンドで特定される可変表示時間にもとづいて装飾図柄の可変表示パターンを選択する選択手段を含み、可変表示制御手段が、遊技制御手段から送出されたコマンドにもとづいて、特別図柄表示制御手段を用いて特別図柄を可変表示させるとともに装飾図柄表示制御手段を用いて装飾図柄を可変表示させ、コマンドで特定される特別図柄表示部の表示結果と装飾図柄表示部の表示結果とが整合するように可変表示制御し、装飾図柄表示制御手段は、選択手段により選択された可変表示パターンに応じた装飾図柄の可変表示を実行し、特別図柄表示制御手段は、いずれの可変表示パターンが選択された場合でも、異なる特別図柄を同一切替速度で切り替えて特別図柄表示部に表示することによって特別図柄の可変表示を実行し、装飾図柄表示制御手段は、可変表示時間を特定可能なコマンドで特定された可変表示時間があらかじめ決められている短縮時間である場合には可変表示時間が経過したときに複数の装飾図柄表示部において同時に装飾図柄を停止表示するように構成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、遊技機を、遊技制御手段が、可変表示開始の条件の成立にもとづいて、可変表示時間と表示結果とを特定可能なコマンドを送出し、可変表示制御手段が、遊技制御手段から送出されたコマンドにもとづいて、特別図柄表示制御手段を用いて特別図柄を可変表示させるとともに装飾図柄表示制御手段を用いて装飾図柄を可変表示させ、コマンドで特定される特別図柄表示部の表示結果と装飾図柄表示部の表示結果とが整合するように可変表示制御し、特別図柄表示制御手段が、いずれの可変表示パターンが選択された場合でも、異なる特別図柄を同一切替速度で切り替えて特別図柄表示部に表示することによって特別図柄の可変表示を実行し、装飾図柄表示制御手段が、可変表示時間を特定可能なコマンドで特定された可変表示時間があらかじめ決められている短縮時間である場合には可変表示時間が経過したときに複数の装飾図柄表示部において同時に装飾図柄を停止表示するように構成したので、表示演出を豊富にするとともに、表示演出を豊富にしても遊技制御手段から送出されるコマンド数が増加することのない遊技機を提供できる効果がある。